

地産地消の魅力を知る

町では、学校給食に町内で生産された有機野菜を含めた地元野菜を数多く使用しており、生産者と学校給食センターの栄養士が各小中学校を訪問し、地産地消への理解を深める活動を行っています。

「甘楽町学校給食の日(12月7日)」と「有機野菜の日(12月8日)」にちなんだ学校給食が提供された12月6日には、生産者の強矢義和さん(白倉)と塚田周司さん(天引)が福島小学校の3年1組で特別授業を行いました。

児童から「給食センターに野菜を提供する理由は」と質問されると、強矢さんは「町が好き、町の人が好き、大好きな皆さんが食べてくれることがうれしい」、塚田さんは「野菜を食べてみんなに元気に育ってもらいたい」とそれぞれの思いを語りました。

生産者の話を聞いた三木蒼介さんは「みんなのために一生懸命作ってくれてうれしいです。給食をおいしく食べたいです」と感想を話しました。



強矢さん(右)と塚田さん(左)が生産した有機農産物を手にする児童

甘楽町 学校給食の日

昭和7年12月7日、日本で最初の学校給食が現在の福島小学校で開始された日を記念して制定されました。毎年、「みそスチュー」など当時のメニューが登場します。



12月6日の献立
(みそスチュー・大根の塩昆布あえ)

蕎麦づくり入門の集大成 蕎麦打ち体験

秋畑那須地区のちいじがき蕎麦の里「蕎麦づくり入門」の締めくくりとなる蕎麦打ち体験が12月7日・8日、那須庵で行われました。

約100人のオーナーが、種から育てた粉を使い、地元の名人や昨年10月から那須庵を運営する地域おこし協力隊の山本貴秋さんから指導を受けながら蕎麦打ちに挑戦しました。

参加者は自分で打った蕎麦を食べ、打ちたて、ゆでたてならではの香りや喉ごしを楽しみました。

令和6年度の「蕎麦づくり入門」も蕎麦打ち体験をもって終了となります。種まきから蕎麦打ちまで全ての工程に参加したオーナーにはこの日、「名人認定書」が贈られました。



家族で協力しながら蕎麦打ち工程を楽しむ参加者

町長として20年 総務大臣表彰受賞 茂原さん

令和6年度市区町村長総務大臣表彰式が10月4日、全国町村会館(東京都)で行われ、令和6年7月に町長を退任された茂原荘一さん(小幡)に賞状が授与されました。

茂原さんは平成16年7月の町長選挙で初当選し、財政の立て直しを図るべく「まちおこしプラン」による行財政改革に取り組み、以降東日本大震災やコロナ禍などの幾多の苦境を町政の先頭に立って乗り越え、5期20年の長きにわたり地方行政の発展に尽力されました。

茂原さんは「今回の受賞は20年間支えてくれた家族をはじめ、町の職員そして多くの町民の皆さまのご支援をいただき表彰されたものだと思います。皆さんに感謝申し上げます」と話されました。



社会教育の振興に寄与 中野さん

令和6年度群馬県社会教育研究大会が11月21日、群馬県生涯学習センター(前橋市)で開かれ、中野薫明さん(国峰)が群馬県社会教育委員連絡協議会表彰を受賞しました。

甘楽町文化協会長である中野さんは平成28年6月から8年以上にわたり社会教育委員としても活躍し、町の文化行政や社会教育の振興に尽力されています。

中野さんは「人生100年時代、多くの皆さんの生きがいや充実した人生の一助となるような社会教育の受け皿づくりをしていきたい。住みよい町づくりの一端を担っていきたいです」と話されました。



「現代の名工」に かわらふき工 新井さん

厚生労働大臣が国内で第一人者と目されている現役の技能者を表彰する令和6年度の「卓越した技能者(現代の名工)」が発表され、県内の受賞者3人のうちの1人である新井正人さん(福島)が11月28日、森平町長を表敬訪問しました。

新井さんは、瓦同士を隙間なく合わせ頑丈で美しい屋根を形成する技能や、施工の手順などを原寸大の図面に描き起こす技能に富み、「NPO法人日本瓦葺技能継承会(いらか)会」を立ち上げ全国技能競技大会入賞者を多数輩出するなど後進育成も積極的に行っている点が評価されました。

現在も知識と技術の向上を目指し大学でデザイン建築を学んでいるという新井さんは「今後も日本瓦の技術の継承を行っていききたい」と力強く語りました。



1級かわらぶき技能士として優れた技術を次世代に伝えている新井さん(右)

人権ポスターコンテストで入賞

人権について理解を深めるための第21回人権ポスターコンテスト(富岡人権擁護委員協議会・前橋地方法務局富岡支局主催)が開かれ、甘楽郡・富岡市・上野村の小学5年生を対象に359点の応募がありました。

12月7日に富岡市生涯学習センターで入賞者の表彰式が行われ、作品も展示されました。町内の小学生の作品は、1月16日から2月26日まで町文化会館で展示されますので、ぜひご覧ください。町の入賞者は次のとおりです。



桑原さん(右)と林さん



◇甘楽町教育長賞
林 夢人さん(新屋小)



◇甘楽町長賞
桑原琉華さん(小幡小)

プログラミングを楽しく学ぶ 新屋小

トヨタ未来スクール「モビリティプログラミング教室」が11月28日、新屋小学校(中島 剛校長)の5年生を対象に行われました。

児童たちは、最新のモビリティ(人の移動や物の輸送手段)技術やその社会的意義について説明を受け、自動運転車の仕組みや安全性、環境への配慮などについて学びました。そして、自分でプログラムを組むことで動かすことのできるロボット玩具を使いプログラミングの基礎を楽しく体験しました。

黒澤千晶さんは「自分で考えたプログラムで車が動き、プログラミングは楽しいと感じました。実際に自動運転車にも乗ってみたいと思いました」と感想を話しました。



決められたコース上を車の形をしたロボット玩具が走るよう、命令カードを使い「前進」や「曲がる」などのプログラムを考える児童

老人クラブ活動の活性化に尽力 黛さん

黛 哲夫さん(秋畑)が、公益財団法人全国老人クラブ連合会会長表彰を受賞され、12月13日に甘楽町社会福祉協議会の牛木 義会長より賞状と記念品の伝達を行いました。

黛さんは町老人クラブ連合会の会長をはじめ郡会長、県理事などを歴任し、長年にわたり老人クラブ活動の推進と会員育成に尽力されており、今回の受賞はその功績が評価されたものです。

黛さんは「受賞は、会員の皆さんの支えによって長く務められた結果で、感謝しています。これからも地元老人クラブ会長として、連合会を支え続けていきたいと思います」と話されました。



牛木会長(左)から賞状を手渡される黛さん

犯罪や非行からの立ち直り支援に尽力

更生保護制度施行75周年記念第69回群馬県更生保護大会が11月12日、ベイシア文化ホール(前橋市)で開かれ、犯罪や非行をした人の社会復帰を支援し、安全安心な社会づくりに功労のあった皆さんが表彰されました。

(●保護司 ◆更生保護女性会)

- | | |
|--------------------|-------------|
| ●法務大臣表彰 | 松浦彰一さん(善慶寺) |
| ●前橋保護観察所長表彰 | 小安和順さん(白倉) |
| ◆関東地方更生保護委員会委員長感謝状 | 吉田ひろ子さん(上野) |
| ◆前橋保護観察所長感謝状 | 江川正美さん(善慶寺) |
| ◆群馬県更生保護女性連盟会長表彰 | 熊井戸悦子さん(小幡) |
| ◆ // | 中嶋信子さん(造石) |
| ◆ // | 丸澤弘子さん(善慶寺) |



保護司、更生保護女性会の皆さん

子どもの可能性を高める

町の2025大阪・関西万博国際交流プログラムの一環として、バレーボールプロ指導者の三枝大地さんによる特別授業「人生を変えるマインドセット」が甘楽中学校の生徒を対象に12月4日、同校体育館で開催されました。

三枝さんは、固定観念に捉われず、柔軟な思考を持ちイメージすることが「人生の可能性を開く鍵」であると述べました。「多くの失敗の先に成功があることを知ってほしい」そして「目標を持つ、固定観念を捨てる、本物を知り学ぶこと」が、部活や勉強など全てにおいて自分自身の成長につながると締めくくりました。

生徒会長の中野 栞さん(2年)は「例題をあげてもらい思い込みの差が鍵だと学びました。今日の内容を意識することで私自身も成長していきたいです」と話しました。

講演終了後には、バレーボール部に柔軟性を重視した体の使い方を指導し、「体が変われば技術もあつという間に変わるということを知ってほしい」と熱く語りました。

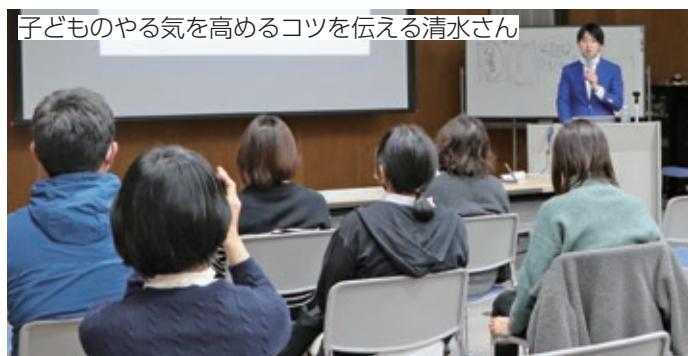
講演会を開催



三枝さんの話を興味深く聞き入る生徒



柔軟性を高めるストレッチを指導する三枝さん



子どものやる気を高めるコツを伝える清水さん

同日、ら・ら・かんらでは「保護者のための特別講座」と題し、教育アドバイザーの清水章弘さんの講演会が開催されました。

その子が自分で勉強できるようになるためには子どものタイプに応じた接し方が重要で、それを知った上での親の関わり方や役割について分かりやすく説明があり、参加者からは感嘆の声がもれました。